

# 青竹

NO.  
55

2013.1.4

編集：病院広報紙編集委員会  
委員長 鈴木 伸行

- 2 新年のご挨拶
- 3 東病棟9階への移転を終えて
- 5 新任医師の紹介
- 6 看護局から
- 7 診療技術局から
- 8 くすり箱
- 9 全国糖尿病週間イベント終了
- 10 提案箱～提案を活用させて頂きました～
- 12 お知らせ



多目的トイレ



豊橋市民病院 院長 岡村正造

謹んで新年のお慶びを申し上げます。豊橋市民病院の職員一同は皆様からの温かいご支援を心の糧に、今年も東三河の中核病院としての役割を果たすべく精一杯努力しますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

昨年は山中伸哉先生が分化多能性を持つ幹細胞（iPS細胞）を生成する技術を開発した功績が認められ、2012年のノーベル生理学・医学賞を受賞し、日本の医学会にとっては大変喜ばしい年になりました。このiPS細胞の特徴を一言で表すと細胞の“初期化”であり、一旦各臓器を形成するまで成長発育した細胞が、ある操作を加えることにより受精直後の細胞と同じようにあらゆる臓器の細胞に分化する能力を持つ細胞に蘇える（“初期化”）ことです。細胞がタイムマシンに乗って“初期化”するという途轍もない夢を実現したのが山中伸哉先生なのです。すごいですね、日本万歳です。

一方、日本の政治の流れは混沌としていて将来像がつかめません。いずれにしても、この先30年間は医療費を含めた社会保障費が増え続けることは間違いなく、願っても願わなくても財源難の日本がやってきます。それならば、地震にたいして備えるように、病院も来るべき医療費抑制策に耐えられるよう十分な準備をしておくのが賢明です。当院の3本柱はがんや難病に対する高度先進医療、周産期医療、災害・救急医療であり、その3本柱を堅持するために人的・物的資源を集中的に注ぐことと、以前から当院の合言葉である“豊橋市民病院へ行けば何とかしてもらえ、豊橋市民病院へ行って満足した”と言って頂ける病院であり続けることこそが現時点で私たちにできる将来への最大の備えと考えています。

平成26年4月の総合周産期母子医療センター開設に向けて工事が始まっています。完成の暁には里帰り出産も積極的に受け入れます。期待してお待ち下さい。

皆様のご多幸を心より祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

# 東病棟9階への移転を終えて

産婦人科第一部長 河井通泰

平成26年4月から開設予定の総合周産期母子医療センター（母体胎児部門）およびパースセンターに先立ち病棟の改築移転が始まりました。今回は第1段階として東病棟2階が東病棟9階に移転しました。東病棟9階には産婦人科（婦人科疾患）、糖尿病・内分泌内科【副部長 水谷直広】、眼科【副部長 榊原由美子】の3科が入ります。3科とも今回一緒に移転しました。今後の移転の予定は小児科が東病棟2階に移転し、最後に東西病棟4階が産婦人科となります。

引越しに先立ち病棟スタッフのみならず患者さんが使いやすいように、以前から設計を医師、看護師、事務局と共に考えてきました。9階になりましたのでエレベーターを用いても着くまでに少し時間がかかりますが、体力アップの運動と考えれば階段で行くという方法もあるでしょう。

この東病棟9階に移転した3科はすべて患者数が増えている忙しい科です。産婦人科（婦人科疾患）は子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌の増加により手術や化学療法、化学放射線療法の割合が多いです。外来治療センターでの化学療法も推し進めています。入院で治療する患者さんもたくさんいます。また子宮筋腫などの良性疾患の患者さんも手術時にはこの病棟へ入ります。

糖尿病・内分泌内科は世界的に急増している糖尿病に対して、診断および治療を担当する科です。糖尿病のインスリン治療のみならず、教育入院、糖尿病教室なども開催しており非常に忙しいところです。糖尿病については他科の入院患者も治療しています。また糖尿病以外にも様々な内分泌疾患患者の入院治療も行っています。



東病棟9階に新設された2つのシャワールーム



眼科は眼疾患のなかでも白内障を最も多く治療しています。これは眼科入院患者全体の約2/3を占めます。硝子体茎頭顕微鏡下離断術も行われています。他にも網膜剥離、緑内障、糖尿病網膜症など様々な疾患に対応しています。手術件数も非常に多く1日に何件も手術し病棟で治療を受けています。

このように多くの患者さんが新しい病棟で、よりよい治療が受けることが出来るよう病院も努力しています。産婦人科の内診室のエコーは、いままでの旧式のものから新しい機種に更新されます。糖尿病・内分泌内科は病棟内で糖尿病教室が開催することが出来るように多目的室が作られました。眼科の診察室の壁はライトグリーンで心地よく安心できるような色合いとなっています。またシャワー室が2つ出来ましたので患者さんの利便性は高まると思います。

2階から9階となり病室からの景色もよくなりました。新しいきれいな病棟となり看護師や他のスタッフと協力して、日々の臨床に心を引き締めて頑張っていきたいと考えています。



病棟内で糖尿病教室が開催される多目的室

## NEW DOCTOR

# 新任医師の紹介



NEW DOCTOR

- ① 所属
- ② 赴任日
- ③ 前任地
- ④ 趣味
- ⑤ その他 自由（抱負、自己PR、家族のこと、最近思うことほか）

### 岡田 貴士

(おかだ たかし)



- ① 整形外科
- ② 平成24年9月1日
- ③ 名古屋大学医学部附属病院
- ④ 推理小説
- ⑤ 9月から豊橋市民病院にて勤務させて頂いております。出身は名古屋市で、滋賀医科大学に進学し初期研修終了後、名古屋大学に入局しました。まだまだ未熟者ですがどうかよろしくお願い致します。

### 石原 俊一

(いしはら しゅんいち)



- ① 放射線科
- ② 平成24年10月1日
- ③ 名古屋大学医学部附属病院
- ④ スポーツ観戦
- ⑤ 放射線医学総合研究所、名古屋大学医学部附属病院を経て約8年ぶりに豊橋市民病院勤務となりました。放射線科の中でも放射線治療を専門としており、放射線治療の立場から当院のがん医療に貢献して行きたいと思っております。よろしくお願い致します。

### 竹山 友章

(たけやま ともあき)



- ① 消化器内科
- ② 平成24年10月1日
- ③ 豊田厚生病院
- ④ ゴルフ、ソフトテニス、お酒
- ⑤ 県下でも最高峰と言われる豊橋市民病院で働かせて頂ける幸福を噛みしめながら日々精進して参ります。明るく、フットワーク軽くをモットーに頑張ります。これからも宜しくお願いします。

### 退任医師の紹介

氏名	所属	退任日
横田 夏子	産婦人科	平成24年8月31日
浅野 晶子	放射線科	平成24年9月30日
北島 秀介	消化器内科	平成24年9月30日
樋口 俊哉	消化器内科	平成24年9月30日

## 職場紹介

### 東病棟9階（産婦人科、眼科、糖尿病・内分泌内科）

東病棟9階は、産婦人科、眼科、糖尿病・内分泌内科の病棟で、平成24年11月23日（祝）に東病棟2階から9階に引越し、リニューアルしました。9階からの眺望は最高で豊橋市内が一望でき、明るく静かな環境です。手術や点滴治療のために入院される患者さんが多く、1日に10人くらいの患者さんが入院されます。

また、糖尿病・内分泌内科では、患者さんに日頃の食事の見直し、規則正しい生活習慣や正しい薬の飲み方などを知っていただくために2週間の体験入院もあります。私たちは、短い入院期間の中で患者さんと接する時間を大切にしています。そして、患者さん一人一人が安心して療養できる環境を作り、安全で心のこもった優しい看護を目指しています。



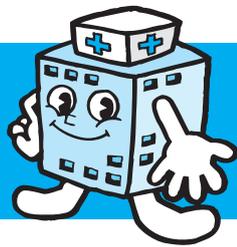
### 西病棟9階（血液・腫瘍内科）

西病棟9階は血液・腫瘍内科の病床数51床の病棟です。9階の窓からは美しい朝日、夕日を眺めることができ、豊橋の夜景も一望に見渡すことができます。主に、血液疾患に対する点滴治療や輸血治療が行われています。患者さんの入院生活は、長期に及ぶこともあります。また、点滴治療の副作用により抵抗力が弱くなることも多く、私たちは、病棟

全体で感染予防対策をしっかりと行い、患者さんを感染から守るように努めています。そのために、お見舞いの方にもマスクを着けて面会していただくようご協力をお願いしています。

私たちは、患者さんの長期に及ぶ入院生活でのストレスを少しでも軽減できるような温かい関わりを大切に、いつでも安全な治療を受けていただけるように、静かな落ち着いた療養環境づくりに努めています。そして、安心して入院生活を過ごしていただけるようにスタッフ一丸となって取り組んでいます。





### 血液検査の参考基準値表（人間ドックで実施する主な項目）

- I. ここに掲載された検査項目の参考基準値表は、豊橋市民病院中央臨床検査室でのものです。
- II. 基準値は、健康な成人の検査値から、その95%が含まれる値を示します。
- III. 年齢、食物の摂取や運動などいろいろな条件で変動します。

臓器	項目名	基準値	単位	説明
肝胆膵	総蛋白	6.7～8.3	g/dL	血液中に含まれるさまざまな種類の蛋白質の総量値です。栄養不足により低下します。
	アルブミン	3.9～4.9	g/dL	蛋白質の中で最も多く含まれます。肝臓の異常、悪性腫瘍や感染症などの炎症、栄養不足等で減少します。
	AST (GOT)	13～33	U/L	肝臓、心臓に含まれるアミノ酸代謝を促進する酵素です。肝炎・心筋梗塞などで高値となります。
	ALT (GPT)	男 6～30 女 6～27	U/L	
	アルカリフォスファターゼ (ALP)	115～359	U/L	肝臓・胆道・骨・胎盤・小腸にある酵素で、これらの障害により上昇します。
	γ-GTP	10～47	U/L	胆汁の流れ(肝・胆道・腸)に障害を生じたり、アルコールの多飲によって増加します。
	LD (LDH)	119～229	U/L	肝臓・心臓・白血球等の細胞が破壊されると血中に流出し、壊れる細胞が多いほど上昇します。
	アミラーゼ	37～125	U/L	膵臓や唾液腺で作られる酵素です。急性膵炎、唾液腺の炎症、大量飲酒後などに増加します。
腎	尿素窒素	8～22	mg/dL	老廃物の一種です。腎機能の低下で排泄出来なくなると増加します。
	クレアチニン	男 0.6～1.1 女 0.4～0.7	mg/dL	
筋	クレアチンキナーゼ (CK)	男 62～287 女 45～163	U/L	心筋や骨格筋に含まれる酵素です。心筋梗塞や筋肉の障害があると上昇します。
脂質代謝	総コレステロール	128～219	mg/dL	細胞膜の構成やホルモン生成に不可欠ですが、高値は動脈硬化や心筋梗塞などの危険因子となります。
	中性脂肪	30～149	mg/dL	高脂血症の指標となる項目です。
	HDL-コレステロール	40～96	mg/dL	「善玉コレステロール」：余分なコレステロールを回収して肝臓に戻す働きがあります。低値になると、動脈硬化の引き金となります。
	LDL-コレステロール	60～120	mg/dL	「悪玉コレステロール」：肝臓に蓄えられたコレステロールを全身に運ぶ働きがあります。高値になると、動脈硬化の危険因子となります。



## 抗がん薬と副作用

がんは、日本人の死因の第1位であり、最近では、生活習慣の欧米化等に伴い、乳がん、大腸がん、肺がんなどが増加しています。

がんの薬物治療では、抗がん薬やホルモン薬などの薬剤を、注射や内服などの方法で投与する化学療法が主体になります。薬物療法によって良くなることが期待できます。また、がんの大きさを小さくすることで症状を和らげることなどが期待できます。

しかし、薬物療法で使われる抗がん薬の多くは、がん細胞を死滅させるとともに、正常な細胞も傷害させてしまうという副作用(有害作用)があります。最近では、分子標的薬といった、がんに特異的に作用する薬も使用されていますが副作用をゼロにすることはできていません。分子標的薬の副作用は、薬によって実にさまざまで、皮膚障害を起こす薬もあれば、血栓症や高血圧、消化管穿孔が問題になる薬もあります。

多くの抗がん薬に共通する主な副作用には、以下に挙げたようなものがあります。抗がん薬の種類によっても、また人によっても発現する頻度や程度が異なります。

骨髄抑制…骨髄にダメージを与え、白血球、赤血球や血小板を減少させます。感染や貧血に注意が必要です。一般的に投与1～2週間後がピークとなります。

吐き気・嘔吐…投与後30分～1時間で現れ、24時間内でおさまる急性嘔吐と投与後24～48時間後に現れ、数日間続く遅延性嘔吐とがあります。

最近では効果の高い吐き気止めの薬(セロトニン受容体拮抗薬やアプレピタントなど)が使用されます。

脱毛…一般的に抗がん薬投与の2～3週間後に脱毛がはじまり、抗がん薬使用中は進行しますが、通常は治療終了後4～6週間で再び生え始めます。

口内炎…痛みや腫れ、飲食物がしみる、出血、乾きなどが見られます。

症状は一時的なものですが、粘膜の再生が行われるまで、時間がかかることがあります。うがい薬や、歯磨きで口内を清潔に保ち予防することが大切です。

下痢…抗がん薬投与後24時間以降に現れる遅発性の下痢は、症状も重くなりがちで、脱水、電解質異常、循環不全などの症状を引き起こすこともあります。



**副作用でお困りのことがありましたら、医師、薬剤師などにご相談ください。**

# 第48回全国糖尿病週間 (平成24年11月12~18日) のイベントを開催

毎年11月14日は世界糖尿病デーといって「糖尿病をもっと広く知ってもらおう！」と世界的に呼びかける日です。今年は11月12日から18日を全国糖尿病週間として日本でも各地で様々なイベントが行われました。当院でも平成23年度からこのような活動を積極的に始めています。



診療棟1階アトリウムに特設会場を設置して糖尿病に関するポスター展示、フードモデル展示、DVD上映、無料の血糖測定など行いました。

医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・管理栄養士などが対応・説明させていただきました。

今年は豊橋市役所の方とも連携して、「特定検診を受診して下さい！」のキャンペーンも同時開催しました。



無料の血糖測定は平成23年度に引き続いて人気を集めました。5日間合計で656名の方が血糖測定をして、その内95名が正常より高値であり、医療機関の受診をお勧めしました。

来年度以降も継続を予定していますので皆様お気軽にお立ち寄りください。

糖尿病・内分泌内科



# 提案箱

～提案を活用させて頂きました～



## 提案書への対応状況報告

提案内容

提案日 平成24年9月

院内での周知について、掲示物は日本語で書かれているが、土地がポルトガル語の周知文も書き入れて掲示した方がよいのでは。ポルトガル語の通訳によるブラジル人へ、口頭でも周知もされると更に徹底がされるのではないか。

対応内容

ご提案ありがとうございます。  
全てにポルトガル語の併記はないものの、重要と思われるものには併記（別刷）していますし、通訳による周知も機会ある度に行っています。

提案内容

提案日 平成24年10月

清算時、案内の人が誰にでもすぐにわかるようにしてほしい。また、初めて受診する時、手続きのことなどを順番に表示して、案内する人も高齢者にもわかるように大きな声でゆっくりと説明するとよいと思う。

対応内容

ご提案ありがとうございます。  
清算時等、案内をする職員は独自の制服を着用しているため、どなたにもお分かりいただけると考えています。  
また、初診の方には必ず「受診のご案内」（パンフ）をお渡ししていますが、説明する時はより一層、親切丁寧な説明を心がけるよう担当職員に指導しました。

## 提案日 平成24年11月

総合案内の天井部分のほこり汚れがひどいです。2階の通路から見えて、病院なのに不快に感じます。

## 対応内容

ご提案ありがとうございます。  
清掃業者に依頼し天井部分の汚れを落としました。今後は年4回程度、清掃を実施するようにします。

## 提案日 平成24年11月

メニューがほぼ同じ。朝、昼、夜のメニューの繰り返しはどうかと思う。やっと食べられる食事が毎回ほぼ同じで食欲もなくなっている。

## 対応内容

ご提案ありがとうございます。  
提案された患者さんは、嚥下食や、食事形状の制限があり、特別な食事を摂取されていると考えられますが、患者さんの嚥下、咀嚼状態に問題が無くなれば解決されると思います。  
なお、献立表の一部については、昨年12月から主食・汁物の温度について、冷たくから温かく、また味のあるものに変更しました。

# お知らせ

## ■ 作品展「ふたり戸谷展」

- と き 1月10日(木)～1月31日(木)午前9時～午後4時  
と ころ 豊橋市民病院 診療棟1階 アトリウム  
内 容 豊橋市民病院で理美容室を営み、患者さんや有名人の似顔絵を描いていた故戸谷仁郎さんの作品に、奥さん(高子さん)の書を加え15点を展示します。

## ■ 市民病院の施設見学・講演会

- と き 2月26日(火)午後2時～4時  
と ころ 豊橋市民病院  
内 容 院内施設見学(手術センター、薬局など予定)、市民病院の機能・役割に関する講演会  
定 員 20人(申込順)  
参 加 料 無料  
申し込み 2月4日から返信先明記の往復はがきで、参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を記入して市民病院管理課へ 2月18日(必着)  
(〒441-8570住所不要 ☎33-6276)

## 豊橋市民病院の理念

信頼に応える技術、人に優しい思いやりのある心、地域に開かれた安らぎのある病院

## 豊橋市民病院の基本方針

1. 地域に開かれた信頼のある病院、患者に優しい思いやりのある医療を目指します。
2. 地域の基幹病院としてふさわしい高度な医療を提供するとともに、特殊医療、救急医療等を積極的に受け持ちます。
3. 基幹病院としての役割を担いながら、他の医療機関との間の有機的な連携のもとに本院の行うべき医療活動を推進します。
4. 医学及び医療技術の研鑽に努めるとともに、医学・医療の進歩に寄与します。
5. 研修医、医学部学生、看護学生、コメディカル、救急救命士などの教育を積極的に行います。
6. 地域住民の保健知識の普及に努め、健康増進活動に参加します。
7. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます。
8. 安全医療の推進に努めます。

当院のご案内は下記でも行っています。併せてご覧下さい。  
豊橋市民病院インターネットホームページアドレス  
<http://www.municipal-hospital.toyohashi.aichi.jp>



豊橋市民病院  
携帯サイト

